

## 目次



- [年5日の年次有給休暇取得義務機能の対象](#)
- [年5日の年次有給休暇取得義務機能の反映箇所](#)
- [年次有給休暇の取得義務期間の定め方](#)
- [5日よりも有休取得義務日数が増える場合の計算方法](#)

年5日の年次有給休暇の取得義務機能について説明します。

## 年5日の年次有給休暇取得義務機能の対象

年5日の年次有給休暇取得義務機能は下記の場合に発生します。

- 「初年度有休付与年月日」 + 「有休付与パターン」が設定済み且つ、付与された年次有給休暇が10日以上。
- 「有休付与パターン」が設定済み且つ、付与された年次有給休暇が10日以上。

## 年5日の年次有給休暇取得義務機能の反映箇所

年5日の年次有給休暇取得義務機能が有効の場合、下記内容の表記がされます。

- 勤怠入力画面の[当月取得済有休]

対象年月		2026/02	< 前月	翌月 >
1.5日	縮	年5日有給休暇取得義務を達成した場合に表記されます。	分	15日締め
有休取得義務達成	当月遅刻・早退			1回
0:00	未取得の振替休日			0日

- 本人入力>労働・休暇状態確認の[有給取得義務日数]

労働時間 ⓘ

労働時間管理 (2025年06月)

有休取得義務日数 達成まであと <b>4</b> 日 2025/08/31 までに取得してください	有休取得日数 <b>1</b> 日	有休残日数 <b>18.4</b> 時間
--	----------------------	-------------------------

・勤怠管理者、事業所、総務>労働・休暇状態管理の勤怠状況一覧での[有給取得義務 期限], [残り必要取得日数]

有休取得	有休取得義務 期限	残り必要取得日数	振替休日残
日	2025/08/31	4日	0日
			0日
			0日

## 年次有給休暇の取得義務期間の定め方

取得義務期間を「初年度有休付与年月日」または「有休付与パターン」を基に定める場合

例) 「有休付与パターン」: 4/1  
 2020/4/1 ~ 2021/3/31までが「取得義務期間」  
 2021/4/1 ~ 2022/3/31までが「取得義務期間」

年休の付与から次の付与が1年未満の場合

取得義務期間が延び、取得義務日数もその分増えるため、「有休取得義務日数」は5日よりも多くなります。

例) 初年度有休付与年月日 : 2020/1/1  
有休付与パターン : 3/15  
2020/1/1 ~ 2021/3/14までが「取得義務期間」  
2021/3/15 ~ 2022/3/14までが「取得義務期間」

## 5日よりも有休取得義務日数が多くなる場合の計算方法

有休取得義務日数=初年度の取得義務期間÷12ヶ月×5日  
1日未満の端数が生じた場合は1日または0.5日に切り上げる。

例) 取得義務期間÷12ヶ月×5日 = 5.83...の場合、有休取得義務日数 = 6日  
「初年度有休付与年月日」or「有休付与パターン」を変更する場合は「有休取得義務日数」も変更されます。